

中学校 1年

「食文化」のレポートを作成して交流しよう！

泉佐野市立新池中学校

教科

国語

単元名

調べて分かったことを伝えよう「食文化」のレポート

本時のねらい

日常生活の中からテーマを決め、調べて分かった事実や自分の考えを整理し、よく伝わるように、項目に沿ってスライドを作成する。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

1人1台のタブレットPCを活用して調査する活動を通して、自ら得た情報をまとめて活用する力（情報活用能力）を養う。授業支援ソフト（Google Classroom）を用いて、個人の考えや意見をクラス全体に共有することを通して、課題に対して主体的・協働的に取り組む。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・タブレットPC ・授業支援ソフト（Google Classroom） ・プレゼンテーションソフト（Google スライド）

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○プレゼンテーションソフト（Google スライド）の課題を確認する。	・資料は授業支援ソフト（Google Classroom）を用いて、課題配付の形式で共有する。 ・教員が説明している時にはタブレットPCを開かず前を向いて聞くよう指導する。
展開 (40分)	○「食文化」について調べた個人のスライドを完成させる。 ○完成したスライドを班で共有する。	・インターネット検索での方法の説明を行い、有益な情報を得ることができるようサポートを行う。また、インターネットだけでなく書籍も必ず利用させる。 ・事前に見本のスライドを作成し、情報活用のヒントを示しておく。 ・項目ごとにシートを作成し、レポートの構成を意識させる。
まとめ (5分)	○班の代表者を1名決める。 ○次回は各班代表者が、クラス全体に向けて発表することを確認する。	・発表者以外のスライドも、後日生徒が閲覧し評価する機会を設ける。

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：個人でスライドを作成している場面



写真2：タブレットPCを用いて、班で交流している場面

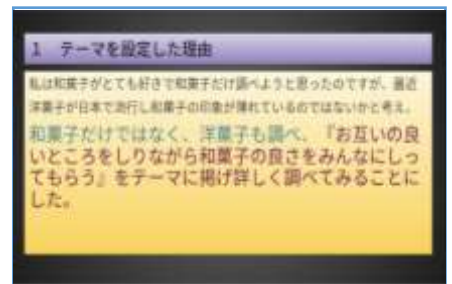


写真3：生徒が作成したスライド

児童生徒の反応や変容

- ・自分で選択したテーマに沿って調べ学習を進めるため、興味や関心を高くもって取り組んでいた。普段文章を書くのが苦手な生徒も、スライドごとにレポートの項目が分かれているため、何を書くべきか目的を明確にして進めることができた。
- ・班活動の場面では、他者が調べた内容に対する発見や驚きだけでなく、発表の仕方も評価し合いながら積極的に交流していた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・タブレットPCを用いることで、文章を「書く」ことに苦手意識を持っている生徒でも前向きに学習に参加することができた。
- ・スライドに画像を挿入することで、文字だけで内容を読み取るのが難しい生徒の視覚支援にもなった。
- ・インターネットには多くの情報があふれているため、調べ学習をするにはとても役に立つツールである。しかし、情報が多いからこそ、精査する方法や情報の信頼性については十分に事前指導しておく必要がある。本授業では、「インターネットだけではなく、必ず書籍の情報も参考にすること」という条件のもと調べ学習を行った。